



なのみ通信

令和6年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 11月5日 第10号

自ら楽しみを創る子どもの育成

10月31日(木)、5年生児童で稲刈りをしました。大きく育った稲を一株ずつ丁寧に刈り取る子どもたち。収穫の喜びとこれまで見守ってくれた地域の方への感謝の気持ちを膨らませる一日となりました。



みんなで頑張った「東小田チャレンジ!」

10月26日(土)、「東小田チャレンジ」を開催いたしました。今回の東小田チャレンジは、すべての子どもたちが学年でチャレンジすることを決め、取組のプロセスや当日の発表を通して、自分たちの「やれば、できた!」「みんな頑張っているな!」といった気持ちを膨らませ、学校全体で子どもたちの自己肯定感を育てていくことをめざしました。これまで取り組んできた子どもたちの様子も伝わり、それぞれの学年の思いが伝わる素敵な発表となりました。

保護者の皆様には、子どもたちのチャレンジに対するこれまでのはげましや労いの声かけ等、ご家庭で支えていただきありがとうございました。今後も子どもたちが自分への自信を持ち、自分や友だちのことを大切にできるよう引き続き本校教育活動へのご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



～閉会式での校長挨拶(抜粋)～

東小田小チャレンジ、皆さん、どうでしたか?

校長先生は、皆さんのこれまでチャレンジしてきた姿が伝わり、とても感動しました。

各学年の発表では、自分たちで目標やチャレンジすることを決め、今日を迎えるため、友だちと協力したり、励まし合ったり、そして一人ひとりが頑張ってきたりしたことがとても伝わりました。今日の日を迎えるために日々取り組んできたことがとても大事です。

「やれば、できた!」そんな自信にみちあふれた皆さんの気持ちが伝わってきました。

そして、オープニングで披露してくれた、タイピングに挑む5年3組、実演してくれたそうたさん。学校でのクラブ活動で練習を重ね、みんなを楽しませてくれた音楽クラブの皆さん。外国語学習の中で、英語で相手に伝えることの楽しさを伝えてくれた6年生3名の皆さん。皆さんの発表は、全校児童みんなに、チャレンジする気持ちを高めてくれました。すばらしい発表でした。

また、これまで何度も実行委員会を開き、学校運営協議会でつくった大人実行委員会との合同実行委員会やめあて発表の劇等、今日の東小田チャレンジを自分たちの力でつくりあげてくれた子ども実行委員会の皆さん。皆さんのチャレンジはとてもすばらしかったです。

チャレンジはこれで終わりではありません。これからも続けてみることもよし、新たなことにチャレンジすることもよし、一人ひとり、学級学年、そして学校全体でチャレンジする心を膨らませていきましょう。

「やれば、できる!」「やれば、できた!」を自信にしていってほしいです。

さて、今日の東小田チャレンジで気持ちよく発表ができるようにと、お家の方や地域の方がお手伝いしてくれました。「おやじの会」の皆さんもそうです。おやじの会の皆さんは、19日の土曜日、体育館の掃除をしていただきました。体育館のフロアはもちろん、倉庫やバスケットリングのボードまで、脚立をかけてきれいにしてくれています。気持ちよく発表できたのも、おやじの会の皆さんのおかげです。ご紹介とこの場をかりてお礼をさせていただきます。ありがとうございました。

